



2018年11月27日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部)
問合せ先 広報グループ長 深 井 稔
(TEL. 06-6201-2477)

サンパイン社への株式追加取得に関するお知らせ

ハリマ化成グループ株式会社は子会社であるローター社(2011年1月設立、本社オランダ)を通じて、スウェーデンで粗トール油からバイオディーゼル用脂肪酸およびトールロジンを製造しているサンパイン社の株主であるKiram社が保有する同社株式を取得しましたので、お知らせいたします。

これにより、ローター社によるサンパイン社の持株比率は24.6パーセントに増加し、サンパイン社は当社の連結決算上の持分法適用関連会社となります。

概要につきましては下記の通りです。

記

1. 株式取得の理由

ハリマ化成グループは主要原料であるロジンに関して、日本及びニュージーランドにおいて粗トール油の蒸留によりトールロジンの生産を行っています。一方、ブラジル、アルゼンチンにおいては、ガムロジンの生産、中国、インドネシア、ベトナムにおいては、ガムロジンの調達を行っており、トールロジンとガムロジンの両方を原料として使用しています。

ローター社は、2012年にサンパイン社へ出資し、サンパイン社はこの資金をもとにトールロジン蒸留設備を建設、2015年より稼働しました。それまで粗トール油からトール脂肪酸を分離後の成分(トールロジンとトールピッチの混合物)は燃料として使用されていましたが、ロジン成分を蒸留により分離し有効活用することが可能となりました。これによりローター社は、主力市場である欧州において、主原料であるトールロジンを安定的に調達してまいりました。

サンパイン社は、トールロジン蒸留設備の稼働後は業績も順調に拡大しており、2020年までにトール油処理能力を50パーセント拡大させる計画です。

当社は、今回の株式取得により、欧州での事業基盤をさらに強化し、主要事業であるインキ用樹脂および粘接着剤用樹脂の欧州地域での販売拡大を図ってまいります。

2. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	Kiram AB
(2) 住所	Norra Villavägen 17, 237 34 Bjärred, Sweden
(3) 代表者	Lars Stiggson氏

3. 株式取得日

2018年11月22日(日本時間)

4. 取得価格

20.4百万ユーロ(約26.2億円)

5. 取得株式数、取得前後の所有株式の状況

(1) 取得前の所有株式数	6,640株 (所有割合:10.0%)
(2) 取得株式数	9,664株 (取得割合:14.6%)
(3) 取得後の所有株式数	16,304株 (所有割合:24.6%)

6. 連結業績への影響について

現時点では、今期連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

【参考資料】

ローター社 Lawter B.V.

所在地：オランダ アムステルダム市

代表者：谷中 一郎(President & CEO)

会社設立：2011年1月

URL: www.lawter.com

主な事業の内容：ロジン関連製品(印刷インキ用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム用乳化剤、テレビン精留油等)の研究開発、製造、販売

サンパイン社 SunPine AB

会社名：SunPine AB

所在地：スウェーデン・ピーテオー市

代表者：Magnus Edin

会社設立：2006年(2010年稼働開始)

資本金：6.6百万スウェーデン・クローナ

売上高：1,203百万スウェーデン・クローナ(2017年 約150億7千万円)

URL: www.sunpine.se

主な事業の内容：バイオディーゼル用トール脂肪酸およびトールロジンの製造ならびに販売

ローター社買取後の株主構成

社名	株式比率	事業概要
プリム社(Preem AB)	25.1%	スウェーデン最大の石油精製・販売会社。サンパイン社よりトール脂肪酸を購入。
ソドラ(Sodra)	25.1%	スウェーデンの材木及びパルプ生産組合。パルプ工場で副生する粗トール油をサンパイン社に供給。
スベアスコグ社(Sveaskog AB)	25.1%	スウェーデン最大の森林所有会社。
ローター社(Lawter B.V.)	24.6%	ロジンを原料に印刷インキ用樹脂、接着剤用樹脂を製造・販売。サンパイン社よりトールロジンを購入。

この度のローター社の持株比率増加の結果、サンパイン社の原料である粗トールのもととなる森林の所有会社スベアスコグ、森林資源から粗トール油を生産するソドラ、サンパイン社の製品であるトール脂肪酸を購入するプリム社およびトールロジンを購入するローター社の4社が各4分の1保有することとなり、より安定した株主構成となりました。

キーラム社 Kiram AB

会 社 名: Kiram AB

所 在 地: Norra Villavagen 17, 237 34 Bjarred, Sweden

代 表 者: Lars Stiggson

会 社 設 立: 1989年

資 本 金: 10万スウェーデン・クローナ

売 上 高: 2百万スウェーデン・クローナ(2017年 約2千5百万円)

主な事業の内容: バイオディーゼル燃料等、松由来の新規技術開発および事業化

発明家あり起業家でもあるLars Stiggson氏は、サンパイン社における自身の役割(粗トール油を原料にバイオディーゼルの生産を事業化すること)を果たしたことで、株式を売却することとしました。

粗トール油(Crude Tall Oil)

パルプ製造工程において、クラフトパルプ法(木材のチップをアルカリ蒸解してパルプを製造する方法)によって残った黒液からリグニンや水分を分離した後、酸分解したものが、粗トール油(樹脂分を含んだ液状物質)です。

この粗トール油を、蒸留することによってロジン、脂肪酸、ピッチに分離されます。

*「トール(Tall)」はスウェーデン語で「松」を意味し、「トール油」は「松の油」です。ハリマ化成は1958年に国内初となるトール油精留事業(兵庫県加古川市)を開始して以来、トール油のパイオニアとして今日に至っています。現在、子会社のハリマエムアイディ(株)(兵庫県加古川市)が国内で唯一、トール油精留事業を行っており、年間約6万トンの粗トール油を原料に、約2万トンのトールロジン、同量のトール脂肪酸を生産しています。

トールピッチ(Tall Oil Pitch)

粗トール油に含まれる高沸点成分の黒い物質(常温では半固形)。石油精製におけるアスファルトに相当します。

トールロジン(Tall Oil Rosin)

ロジンは「松やに」とも呼ばれ、松から得られる天然樹脂です。主にアビエチン酸などの複数の樹脂酸で構成されています。粗トール油を原料に得られたロジンがトールロジンです。

バイオディーゼル燃料:

一般的にバイオディーゼル燃料は菜種油、大豆油などの生物由来油を主原料に、メチルエステル化などの化学処理を施し、軽油に20パーセント程度まで混合してディーゼルエンジンに使用できるようにしています。

一方、サンパイン社の株主でもあるプリム社(Preem AB)では、サンパイン社より供給されたトール脂肪酸を軽油に50パーセント程度混合し、クラッキング(触媒で低沸点の炭化水素に

変換)することで、バイオディーゼル燃料を生産しています。粗トール油由来のバイオディーゼルは、非可食原料由来であるとともに大幅なCO2削減手段の一つとして注目されています。

[背景]

EUは2009年6月、再生可能エネルギー指令により、域内の最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を、2020年に20パーセントにするという目標の達成を義務とし、加盟国も導入目標達成が義務化されています。

加盟国はバイオマス資源を活用して、目標を達成しようとしており、その中でもスウェーデンは2020年の最終エネルギー消費量に占めるバイオディーゼルなどの再生可能エネルギーの割合の目標が49%と、加盟国の中で最も高くなっています。